

新規事業採択時評価結果（平成20年度 新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名： 深澤 淳志

事業の概要

|           |  |       |          |      |     |
|-----------|--|-------|----------|------|-----|
| 事業名       | 地域高規格道路<br>一般国道256号 和良金山道路   | 事業区分  | 一般国道     | 事業主体 | 岐阜県 |
| 起終点       | 起点：岐阜県郡上市和良町方須<br>終点：岐阜県下呂市金山町乙原   | 延長    | 2.7 km   |      |     |
| 事業概要      | 濃飛横断自動車道は、岐阜県郡上市の東海北陸自動車道から下呂市の41号を経由し中津川市の中央自動車道を結び、岐阜県の広域幹線ネットワークを形成する延長約60kmの地域高規格道路。<br>和良金山道路は、濃飛横断自動車道の一部を構成する延長2.7kmの2車線道路。 |       |          |      |     |
| 事業の目的、必要性 | 和良金山道路は、<br>・現国道256号の線形不良区間の解消<br>・現国道256号の防災点検要対策箇所の回避<br>・国道41号等周辺道路の異常気象時等通行規制時の迂回路確保等を目的とする。                                   |       |          |      |     |
| 全体事業費     | 64億円   | 計画交通量 | 2,100台/日 |      |     |
| 事業概要図     |  |       |          |      |     |

関係する地方公共団体等の意見  
下記団体により、強く要望されている。  
「濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会」（下呂市・郡上市・中津川市・東白川村、関係商工会、観光協会等）  
「濃飛横断自動車道促進特別委員会」（下呂市議会）、「濃飛横断自動車道建設促進特別委員会」（郡上市議会）  
「ぎふ国道256号整備促進期成同盟会」（岐阜市・山県市・関市・郡上市・下呂市・中津川市・白川町・東白川村）

事業採択の前提条件  
・便益が費用を上回っている。  
・地元の各種団体等から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

|        |             |                       |   |   |              |
|--------|-------------|-----------------------|---|---|--------------|
| 費用対便益  | B/C         | 1.2                   | 総費用：54億円<br>（事業費：53億円<br>維持管理費：1.4億円）     | 総便益：65億円<br>（走行時間短縮便益：50億円<br>走行費用減少便益：9.4億円<br>交通事故減少便益：5.4億円）   | 基準年<br>平成20年 |
|        | 感度分析の結果     | 交通量変動                 | B/C=1.2 (交通量 -10%)                        | B/C=1.2 (交通量 +10%)  |              |
|        |             | 事業費変動                 | B/C=1.1 (事業費 +10%)                        | B/C=1.3 (事業費 -10%)  |              |
|        | 事業期間変動      | B/C=1.1 (事業期間 +1年)    | B/C=1.2 (事業期間 -1年)                        |   |              |
| 事業の影響  | 自動車や歩行者への影響 | 評価項目                  | 評価  | 根拠  |              |
|        |             | 渋滞対策                  | -   | ・注目すべき影響がない   |              |
|        |             | 事故対策                  | -   | ・注目すべき影響がない   |              |
|        | 歩行空間        | -                     | ・注目すべき影響がない                               |   |              |
|        | 社会全体への影響    | 住民生活                  | ○   | 第三次救急医療施設である高山赤十字病院が選択肢として増える（郡上市和良町）                             |              |
|        |             | 地域経済                  | ○   | 郡上市・下呂市間の所要時間短縮と円滑化によりアクセスが向上する。                                  |              |
|        |             | 災害                    | ○   | 国道256号現道上の防災点検要対策4箇所の回避となる。<br>国道41号、主要地方道金山明宝線が通行規制された場合の迂回路となる。 |              |
| 環境     |             | -                     | 交通量が分散し走行時間も短縮するためCO2, NO2, SPMの排出量が削減される |   |              |
| 地域社会   | ○           | 下呂市と郡上市の相互のアクセスが向上する。 |   |   |              |
| 事業実施環境 | ○           | 地元市町村が事業に協力的である。      |   |   |              |

採択の理由

事業主体である岐阜県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.2と便益が費用を上回っていることから、事業採択の前提条件が確認でき、また、当該区間の整備により線形不良区間の解消及び防災点検要対策箇所の回避及び国道41号他周辺道路の通行規制時の迂回路となることから整備効果は高いと判断できる。  
以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。